

2021 年鳥取大学附属学校部スクールカウンセラー活動実績

石本志穂

はじめに

著者は、2016年4月から、鳥取大学附属学校部（以下附属学校部）にてスクールカウンセラー（以下SC）として活動している。附属学校部のニーズの増加によって、2021年4月より新しく1名スクールカウンセラーを増員し、2021年度はスクールカウンセラー2名体制となった。

鳥取大学附属小学校（以下附属小学校）での活動が週3時間、鳥取大学附属特別支援学校（以下附属特別支援学校）での活動が隔週2時間、鳥取大学附属中学校（以下附属中学校）での活動が週4時間となっている。主に附属小学校と附属特別支援学校での活動を著者が、附属中学校での活動をもう1名のスクールカウンセラーが担当している。また、各学校からの要請によって、それ以外の時間も活動することとなっている。

本稿では、2021年（2021年1月～12月）にスクールカウンセラーが行った活動をまとめることとする。

1. スクールカウンセラー活動実績

（1）鳥取大学附属幼稚園（以下附属幼稚園）での活動実績

附属幼稚園からの相談依頼はなかった。

（2）附属小学校での活動実績

表1 附属小学校での相談のべ件数

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
面談	本人	0	0	0	0	0	0	1	0	3	3	5	5	16
	保護者	1	2	1	0	0	3	3	0	2	1	3	1	17
計		1	2	1	0	0	3	4	0	5	4	8	6	33

附属小学校での相談件数の集計を行った結果、表1に示すように、2021年は33件であった。

また、その他の業務として、児童観察を16件、他機関連携を2件、発達検査・知能検査を6件、支援委員会を3件、心理教育の授業を2件、小学校1年生保護者に対する保護者研修を1件行った。

2020年の相談件数は12件、児童観察は14件、支援委員会は0件であり、相談件数、観察件数ともに増えている。また、他機関連携や心理教育の実施など、スクールカウンセラー活用場面が増えている。

（3）鳥取大学附属中学校での活動実績

附属中学校での相談件数の集計を行った結果、表3に示すように、2021年は81件であった。また、表4に示すように定期的に開かれる支援委員会に参加した。

2020年の相談件数は46件であり、相談件数は増えている。支援委員会への参加は2020年は10件であり、2021年はほぼ同等であった。

表 2 附属中学校での相談のべ件数

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
面談	本人	4	4	9	1	11	9	6	0	9	7	5	11	76
	保護者	0	1	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	5
計		4	5	10	1	11	9	7	0	9	8	5	12	81

表 3 附属中学校での支援委員会の件数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
支援委員会	1	1	0	1	1	1	0	0	1	1	1	1	9

(4) 鳥取大学附属特別支援学校での活動実績

表 4 附属特別支援学校での相談のべ件数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
小学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中学部	2	2	1	2	0	2	1	0	0	0	2	1	13
高等部	0	1	1	1	3	0	0	0	2	4	2	2	16
高等部専攻科	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	1	4
計	2	3	2	4	3	2	1	0	4	4	4	4	33

附属特別支援学校での相談件数の集計を行った結果、表 5 に示すように、2020 年は 33 件であった。その他の活動として、教員とのコンサルテーションを行った。また、高等部専攻科の参観を 1 回行った。

2020 年の相談件数は 29 件であり、相談件数は増えている。また、2020 年に引き続き授業参観を行った。2021 年は、高等部生徒に対してカウンセリングのオリエンテーションや、高等部専攻科の生徒へのカウンセリングを行うようになった。

石本志穂（鳥取大学附属学校部スクールカウンセラー）